

令和4年度

事業実績報告書

施設名: 居宅介護支援事業所 ふくもり

事業所名	居宅介護支援事業所 ふくもり			職名	人数	備考
施設長・管理者名	西谷由美			施設長	1名	兼務(こもれび、ふくもり、みのり大山) 兼務(施設長・介護支援専門員)
実施事業	居宅介護支援事業			管理者(主任介護支援専門員)	1名	
開設年月日	平成23年7月15日			介護支援専門員	4名	
所在地	倉吉市福守町492-1			生活相談員	名	
正規職員(総合職)数	3名			看護師	名	
正規職員(一般職)数	0名					
準職員数	フルタイム 0名 : パートタイム 0名			介護員	名	
契約職員数	フルタイム 1名 : パートタイム 0名			調理員	名	
定員	105名→1月より120名	実績利用者数 106.2名/月	達成率 90%	夜間専門員	名	
				計	4名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	ご利用者が介護保険やあらゆる社会資源を活用し、住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう誠心誠意支援します。					
2 運営方針	(1)利用者確保に努め、加算を得ることで経営の安定化を図ります。 (2)必要なケアマネジメント(ケアプラン作成・各種の記録・月1回の訪問・モニタリング・評価等)を確実に実施し、法令を遵守し、運営基盤を確固としたものにします。 (3)医療連携室等との連携を図り、スムーズな退院ができるように支援します。 (4)定期的にサービスの実施状況を把握し、必要に応じてケアプランの変更を行いご利用者様の自立支援に努めます。 (5)定期的な訪問を通じて行政および各事業所との良好な関係を築き、情報収集や連携に努めます。					
3 主な事業内容	(1)施設整備計画 なし			(1)施設整備実績 公用車購入 400千円		
(1)施設整備事業						
(2)事業活動	(2)事業活動 コスモスを通じての地域との交流 ・みのり大山入居者様と7月にコスモスの植え ・種取りをして11月の文化祭に来場の地域の方へ配布			(2)事業活動 なし		
4 安全管理・衛生管理	(1)感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。 (2)新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止のため屋外も含め短時間でも会話時にはマスクを着用し、三密を避け、危機管理意識を持って感染防止に取り組みます。また、感染拡大を抑えるのは個人の行動にあることを認識し、基本的な感染予防「感染しない」「感染させない」を意識し感染防止の一層の徹底をします。 ・【密閉した空間】【密集する場所】【密接する場所】の3密の集団となることは避け ます。 ・体調が悪い職員が出勤することがないように、職員の健康管理を徹底します。 ・アルコール等適切な方法による消毒を行います。(共同利用空間における感染 (3)交通規則の遵守、運転日誌の記録、車の点検をする等交通安全に努めます。また、必要に応じて運転講習会に参加をします。			(1)(2)新型コロナウイルス等の感染予防対策として、感染対策をするよう朝礼で毎回周知し手洗い、建物内の消毒を徹底、職員の体調管理の啓発等を行い感染防止に努める事ができた。 (3)朝礼時に注意喚起を行うなど、交通事故防止に努めた。		

5 防災・火災、救助体制	<p>みのり大山の災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全・被害の軽減を図ります。</p> <p>防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全・被害の軽減を図るとともに、みのり大山で行われる防火訓練(年2回)の参加、地域防災状況の把握、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、併設しているヘルパーステーションこもれびと協同して入居者様の安全の確保を行います。</p>	<p>9月27日 14:00～ みのり大山の避難訓練(夜間想定)に参加</p> <p>12月15日 14:00～ みのり大山の避難訓練に参加</p>
6 職員の資質の向上と研修	<p>(1)鳥取県・各保険者・鳥取県介護支援専門員連絡協議会等主催の研修に随時参加します。</p> <p>(2)高齢者福祉専門部会、法人内ケアマネ連絡会に出席し、情報交換に努めます。</p> <p>(3)事業所内居宅支援会議の定期的な開催及び、事例検討会の開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処遇困難ケース等の検討や諸制度・ケアマネジメントに関する技術等の情報提供等を行います (4)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 ・多職種連携や、報・連・相を徹底することで業務の効率化やご利用者様等の安心安全、自立支援につなげていきます。 ・挨拶や、感謝の言葉を伝え職員間のコミュニケーションを図ります。 ・報連相+確認をします。 ・情報共有する場として定期ミーティングを開催します。 (5)SDGsの取組み 誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる社会を目指します。 また、小さなことから継続して取り組み「持続可能な開発目標」等の参加をします。 ・個々に応じた適切なケアマネジメントの提供をします。 ・風通しのよい職場作りに取り組みます。 ・廃棄物の発生削減による経費の削減に努めます。 	<p>(1)外部研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/22 介護事業所が守らなければならない事項 1名参加 10/12 介護支援専門員連絡協議会研修 web研修 1名参加 2/18 介護支援専門員連絡協議会研修 web研修 1名参加 6月～10月 8日間 主任ケアマネ更新研修 1名参加 <p>(2)法人内部研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/16, 6/10, 7/8 管理者研修 1名参加 1/17,2/21,3/14Web研修 11/29 スキルアップ研修(高齢者福祉専門部会) <p>(3)施設内のOJT・職場研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ミーティング後に勉強会を月に1回実施 毎月第4(水) ミーティング <p>(4)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> LINEworksを導入し職員間の報連相に努めた。 <p>(5)SDGsの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 抱えている困難事例や、悩み事が話せる雰囲気作りに努めた。 裏紙を使うなどコピー用紙の再利用に努めた。また、休憩時間は消灯するなど節電対策を実行した。
7 各種団体との連携と地域交流	<p>(1)広報紙の発行・配布</p> <p>発行回数:1回/年</p> <p>配布先:地域包括センター、地区公民館、地区自治会等</p> <p>(2)明倫・小鴨地域包括支援センター主催の茶話会(通称「あんの会」)に参加し、交流を通じて情報交換をします。</p> <p>(3)市町村で開催される「地域ネットワーク会議」及び各種研修会や、鳥取県介護支援専門員連絡協議会等の多職種連携の研修会に参加し、情報交換や連携を図ります。</p> <p>(4)法人主催の地域との交流行事に積極的に参加します。</p>	<p>(1)広報誌の発行はできなかった。</p> <p>(2)あんの会 6/13予防プランの作り方について 3名参加</p> <p>(3)倉吉市ケアマネネットワーク会議 6/14 1名参加 11/30 2名参加</p> <p>(4)福祉の里 文化祭に参加</p>

季節・年間行事

施設名：居宅介護支援事業所 ふくもり

実施月	行事計画	行事实績
令和4年 4月	大山行事(花見)	なし
5月	大山行事	なし
6月	大山行事	なし
7月	大山行事	なし
8月	大山行事	なし
9月	大山行事	9/27みのり大山避難訓練参加・満足度アンケート
10月	大山行事	なし
11月	大山行事	福祉の里文化祭参加
12月	大山行事	12/15みのり大山避難訓練参加
令和5年 1月	大山行事	なし
2月	大山行事	なし
3月	大山行事	なし